

フットサル部とバスケット部、ブラインドサッカー®に初挑戦

～体験型ダイバーシティ教育プログラム「スポ育®」で学ぶチームワークの大切さ～

NPO法人日本ブラインドサッカー協会主催の体験型ダイバーシティ教育プログラム「スポ育」で、当校男女フットサル部とバスケットボール部がブラインドサッカーに初挑戦しました。女子フットサル部は「みんなで楽しむこと」をモットーに部員が主体となって活動をしています。

今回の取組も、女子フットサル部自ら応募し、

男子フットサル部とバスケットボール部に声をかけ、実現しました。

当日は、アイマスクで目を覆い視覚に頼れない環境下でのパスのやり取りなどを実際に体験。視覚障がい者への理解促進、チームワーク・コミュニケーションの大切さを学ぶことができました。



まずは、ボールを蹴る人だけが目隠しをしてブラインドサッカーにチャレンジ!

鈴の音が出るボールを使って、ボールを出す人が「右! 左!」と言いながらボールをちゃんと蹴られるように誘導しました。



目隠しすると、ただまっすぐ歩くだけでも大変であることを体験を通して知ることができました。



今度は、2人で目隠しをして、ボールから出る鈴の音と周りの掛け声を頼りにパスを出し合いました。